

令和8年度 学校経営について

甲州市立奥野田小学校

□校訓「至誠 親切 勤労」 □学校教育目標「自ら学ぶ子ども」の育成

□めざす子ども像

- 自分で考え進んで学ぶ子ども【知育】
- 思いやりのある情操豊かな子ども【徳育】
- 体を鍛え生命を大切にする子ども【体育】

□学校経営の柱 「わかって楽しい授業づくり」「居心地のよい集団づくり」「けじめのある生活づくり」
「安心安全な教育環境づくり」

□学校経営の努力点と具体策

(1)一人一人の自分らしさがつながる、安心して学べる不登校ゼロの学校

- ① 児童・保護者とのコミュニケーションを密にし、相手の立場に立った関わりを心がける。
- ② 「生命を大切にする」を基本に、心に響く道德教育を行う。
- ③ あいさつ運動、児童会、縦割り班活動を効果的に行う。
- ④ QUを活用した学級集団づくりを行い、いじめ・不登校のない楽しい学級作り・学校づくりに努める。
- ⑤ 相談活動を充実させ、児童の心の居場所や担任との人間関係づくりに努める。
- ⑥ 体験活動を通して、他人を思いやる心を育てる。

(2)探求学習により、地域とつながる楽しさを実感できる学校

- ① 授業時数特例校制度を活用し、地域とつながる特色ある教育課程を編成し、主体的な学びにつなげる。
- ② 環境教育、福祉教育、情報教育、国際理解教育、キャリア教育、道德教育を学校教育活動全体の中で推進する。また、プログラミング教育等については、教科横断的な取組も視野に入れて効果的に取り組む。

(3)デジタル学習基盤を活用し、未来とつながる楽しさが実感できる学校

- ① すべての児童に基礎的・基本的な学習内容を習得させるために、児童の実態に応じた指導法の工夫や有効なT.T.指導に取り組む。
- ② 「甲州市ティーチャーズノート」を参考にし、デジタルとアナログを併用した、楽しく、わかりやすい授業実践に努める。
- ③ 「家庭学習の手引き」を活用して、ICT 端末を効果的に活用した家庭学習の定着を図る。
- ④ 読書活動の充実と図書室の有効活用に努める。
- ⑤ 外国語の授業の充実に取り組む。
- ⑥ 校内研究・甲州市プロジェクト・教協研究会での学びを日々の教育実践に最大限生かす。

(4)健康、安全教育及び食育の充実と体力の向上に努める

- ① 授業・体育的行事・すあしマラソン・食育などを通して、健康な体づくりや体力の向上に努める。
- ② 基本的な生活習慣の育成に努め、健康について意識し生活できるように指導する。
- ③ 安全教育・防災教育(避難訓練)を通して、日常生活における事件・事故・災害等に対し、的確に判断し行動できる力を身につける。

(5)特別支援教育の充実に努める

- ① 校内での情報の共有化を図り、全校体制で計画的・組織的な支援に努める。
- ② 家庭や関係諸機関との連携を図りながら、個に応じた効果的な支援・指導にあたる。
- ③ 全職員の特別支援教育についての専門性を高め、組織的に対応する。

(6)家庭・地域とつながり、開かれた信頼される学校づくりを推進する

- ① 地域の伝統文化、自然環境、郷土資料などを生かした地域に根ざした教育を推進する。
- ② コミュニティ・スクールとしての機能を活かし、地域の方々との連携をとり、地域と共にある学校をめざす。
- ③ 学校便りや学年便り等を発行し、家庭や地域に学校の様子を知らせる。

(7)教職員がつながり、共に創り、支え合える学校

- ① 本校の教育課題を明確にし、全職員で共通理解を図り、協働体制で組織的に課題解決に取り組む。
- ② 時代の流れに沿った対応ができるよう常に研鑽に努める。
- ③ 働き方を見直し、勤務時間外在校時間が月45時間を超えない。